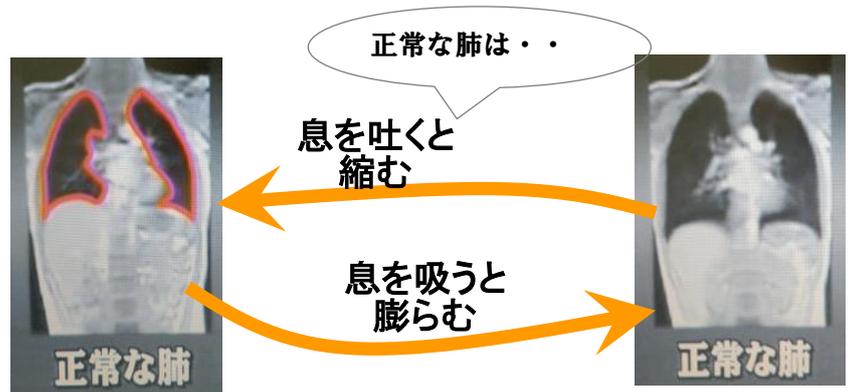


週刊 タバコの正体

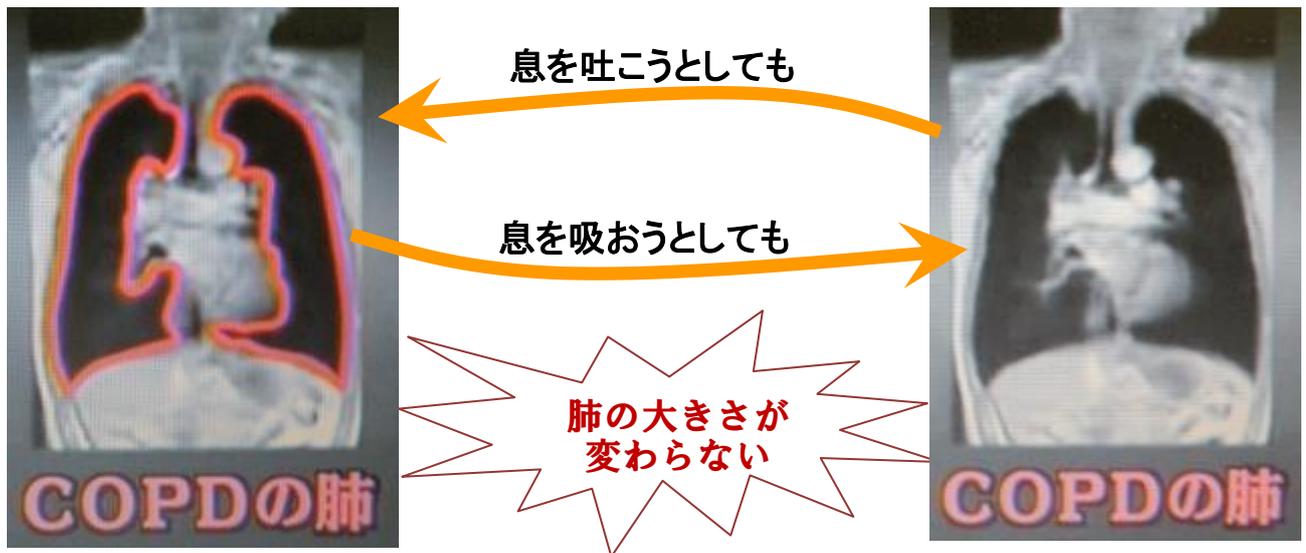
タバコを吸い続けると、その煙にさらされる肺はかなりのダメージを受けます。そのために肺がんになる確率が高くなります。じつは肺がんだけではなく「慢性閉塞性肺疾患」(COPD)と呼ばれる病気になる人も多いのです。

この病気になると、気管支や肺胞の炎症で肺の働きが低下し呼吸が困難になってしまいます。

正常で健康な肺では右の写真のように呼吸をするたびに肺は縮んだり膨らんだりしますが、COPD が進行した肺では、下の写真のように肺の大きさが変わらないので息を吐くことも吸うこともできなくなってしまいます。



朝日放送「たけしの本当は怖い家庭の医学」
必ず成功する！禁煙SP から



こんな症状になるまで悪化してしまうと、自分の力で呼吸できなくなるので、つねに酸素ボンベが必要になり、どこに行くにも持ち運ばなければならなくなります。

タバコを吸い続けるとこんな生活が待っていることを知っておかなければいけません。



産業デザイン科 奥田 恭久

在宅酸素療法.com から